



軽量シャッター

主に、車庫、店舗等の出入りに使用されるシャッターで、防犯建物部品の軽量シャッタースラットは0.8mm以上となります。電動式の場合で屋外にスイッチボックスを設置する場合は、防犯建物部品のスイッチボックスを使用する必要があります。

軽量シャッターの概要

<ガイドレール構造>

板厚・溝深さによって、スラットこじ開けに対して強い構造となっている。現在の主流は以下となっている。
・板厚：1.0ミリ以上、
・溝深さ：43.5ミリ以上



<持上げ防止機構(電動式)>

ブレーキ付の電動開閉機と、スラットのたるみこみ防止機構によって座板こじ開けに対して強い構造となっている。

<錠構造(手動式)>

ピッキング対策を考慮した錠を使用するとともに、錠の複数化等によってピッキングに強い構造となっている。

<シャッターカーテン構造>

板厚を確保することで切り破り、スラットこじ開けに強い構造となっている。現在は板厚0.8ミリが主流である。

<CPラベル>

シャッターカーテン下端の座板もしくは座板直上のスラットに対して、外観右端に貼付する。



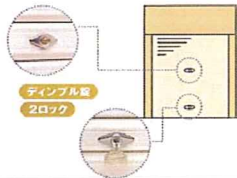
<付帯事項(電動式)>

屋外側にスイッチボックスを設置する場合は、防犯建物部品のスイッチボックスを使用する。

軽量シャッターのバリエーション

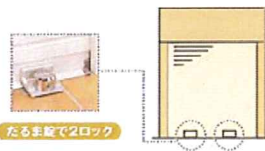
手動式のバリエーション

Aタイプ



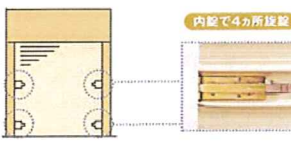
【手動式シャッター】
中間錠と座板錠の

Bタイプ



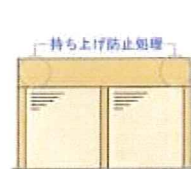
【手動式シャッター】
床錠(だるま錠)

Cタイプ



【手動式シャッター】
内錠

Dタイプ



【電動式シャッター】
持ち上げ防止機構付

【抵抗時間】

侵入者がピッキングやスラット・座板こじ開け、スラット切り破りなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

※ ご注意

CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。